

## ① ICTを利用した指導実践や研修の工夫

### <指導実践について>

- タブレットによる手書き入力や辞書機能を使用し、言葉の意味を調べる。
- 発音を動画や録音で確認させ、発音の誤りに気づかせる。
- 話し方指導の一環として、話し方を動画で確認し改善につなげている。
- デイジー教科書の利用やアプリなどの保護者や学級担任への紹介。
- 漢字や筆順を覚えるために「筆順辞典アプリ」「漢字忍者アプリ」を利用。
- ipad を使った MIM の指導、写真を撮って姿勢の指導。
- ipad を使った漢字や地図の学習。
- ipad やパソコンを利用した、生徒の興味関心、趣味を広げるためにストーリー作り。
- ipad に画像を取り込み、WMや構音のトレーニング。
- 聴く聞くドリルをダウンロードし、再生して使用。

### <問題点について>

- ipad が使いやすいが、市内共通の児童用タブレットは ipad ではないため、アプリなどの使用制限が多い。

## ② これからの定例研、地区講習会・東海四県大会開催についての意見

### <開催の方向>

- 研修の機会は多く持っていきたい。開催してほしい。
- 初めての通級担当だが研修の機会が少なく不安が多かった。中止ではなく、開催方法を考え実施してほしい。

### <今後の変更も>

- コロナ禍を見越して今後は実施方法について考えていくべき。Zoom や youtube などができるだけ取り入れていく。
- 全地区集まるのが難しいため、地区講習会を充実していければ。
- 担当の人数が増え、会場を押さえるのが大変になっている。
- 発達関係の分科会の種類が少ないので増やしていく。
- 中部、東部、西部の地区ごとに研修会を行っていく。
- 紙面発表でもよい。

※中部地区の報告は、各地区からの集約を報告とさせていただきたいです。